2009年11月6日

太陽誘電株式会社

2010年3月期 第2四半期
連結業績概要

TAIYO YUDEN

第2四半期 連結決算概要(前四半期比)

TAIYO YUDEN

受注の回復が続き、前四半期比で増収増益

(単位:百万円)	2010年3月期 第1四半期 (2009.4.1～2009.6.30)	2010年3月期 第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)	増減額	増減率
売上高	42,587	52,408	9,821	23.1%
営業利益	△1,204	3,046	4,251	—
経常利益	△1,865	1,986	3,851	—
当期純利益	△2,467	1,047	3,515	—

営業外費用 : 9億円の為替差損が発生、営業外費用として12億円を計上
特別損失 : たな卸資産廃棄損や固定資産除売却損などで9億円を計上

第2四半期 製品別売上高（前四半期比）

TAIYO YUDEN

記録製品を除くすべての製品区分において前四半期比増収

（単位：百万円）	2010年3月期 第1四半期 （2009.4.1～2009.6.30）	2010年3月期 第2四半期 （2009.7.1～2009.9.30）	増減額	増減率
コンデンサ	18,610	24,405	5,795	31.1%
フェライト及び応用製品	6,817	8,092	1,274	18.7%
モジュール	7,793	10,190	2,397	30.8%
記録製品	6,683	6,585	△97	△1.5%
その他電子部品	2,682	3,134	452	16.9%

コンデンサ ： 特に情報機器向け、部品向けの売上が増加

第2四半期 連結決算概要（前年同期比）

TAIYO YUDEN

前年同期比で減収だが、営業利益、当期純利益が増加

（単位：百万円）	2009年3月期 第2四半期 （2008.7.1～2008.9.30）	2010年3月期 第2四半期 （2009.7.1～2009.9.30）	増減額	増減率
売上高	58,180	52,408	△5,771	△9.9%
営業利益	2,257	3,046	789	35.0%
経常利益	2,691	1,986	△704	△26.2%
当期純利益	745	1,047	301	40.5%

営業利益の増益要因 ： 販売数量の増加、固定費削減、原価低減
減益要因 ： 単価ダウン

第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

TAIYO YUDEN

すべての製品区分において、前年同期比で減収

(単位:百万円)	2009年3月期 第2四半期 (2008.7.1～2008.9.30)	2010年3月期 第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)	増減額	増減率
コンデンサ	27,215	24,405	△2,809	△10.3%
フェライト及び応用製品	9,124	8,092	△1,032	△11.3%
モジュール	10,509	10,190	△318	△3.0%
記録製品	7,308	6,585	△722	△9.9%
その他電子部品	4,022	3,134	△888	△22.1%

第2四半期 対米ドル為替レート

TAIYO YUDEN

(単位:円)	2009年3月期 第2四半期 (2008.7.1～2008.9.30)	2010年3月期 第1四半期 (2009.4.1～2009.6.30)	2010年3月期 第2四半期 (2009.7.1～2009.9.30)
平均レート	107.70	97.80	95.34
末日レート	103.63	96.01	90.22

・四半期平均対米ドル為替レートは、95．34円
・前四半期比2．46円の円高、売上高で△8億円、営業利益で△6億円の影響
・前年同期比では12．36円の円高、売上高で△50億円、営業利益で△9億円の影響

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

上期 連結決算概要

TAIYO YUDEN

受注は回復傾向にあるものの、前年同期比では減収減益

（単位：百万円）	2009年3月期 上期 （2008.4.1～2008.9.30）	2010年3月期 上期 （2009.4.1～2009.9.30）	増減額	増減率
売上高	109,462	94,996	△14,466	△13.2%
営業利益	4,133	1,842	△2,291	△55.4%
経常利益	5,258	121	△5,137	△97.7%
当期純利益	1,649	△1,420	△3,070	－

営業外費用 ： 16億円の為替差損が発生、営業外費用として21億円を計上

上期 製品別売上高

TAIYO YUDEN

すべての製品区分において、前年同期比で減収

（単位：百万円）	2009年3月期 上期 （2008.4.1～2008.9.30）	2010年3月期 上期 （2009.4.1～2009.9.30）	増減額	増減率
コンデンサ	50,570	43,015	△7,554	△14.9%
フェライト及び応用製品	17,256	14,910	△2,345	△13.6%
モジュール	19,086	17,984	△1,102	△5.8%
記録製品	13,971	13,268	△702	△5.0%
その他電子部品	8,578	5,816	△2,761	△32.2%

上期 対米ドル為替レート

TAIYO YUDEN

（単位：円）	2009年3月期 上期 （2008.4.1～2008.9.30）	2010年3月期 上期 （2009.4.1～2009.9.30）
平均レート	105.14	96.57
末日レート	103.63	90.22

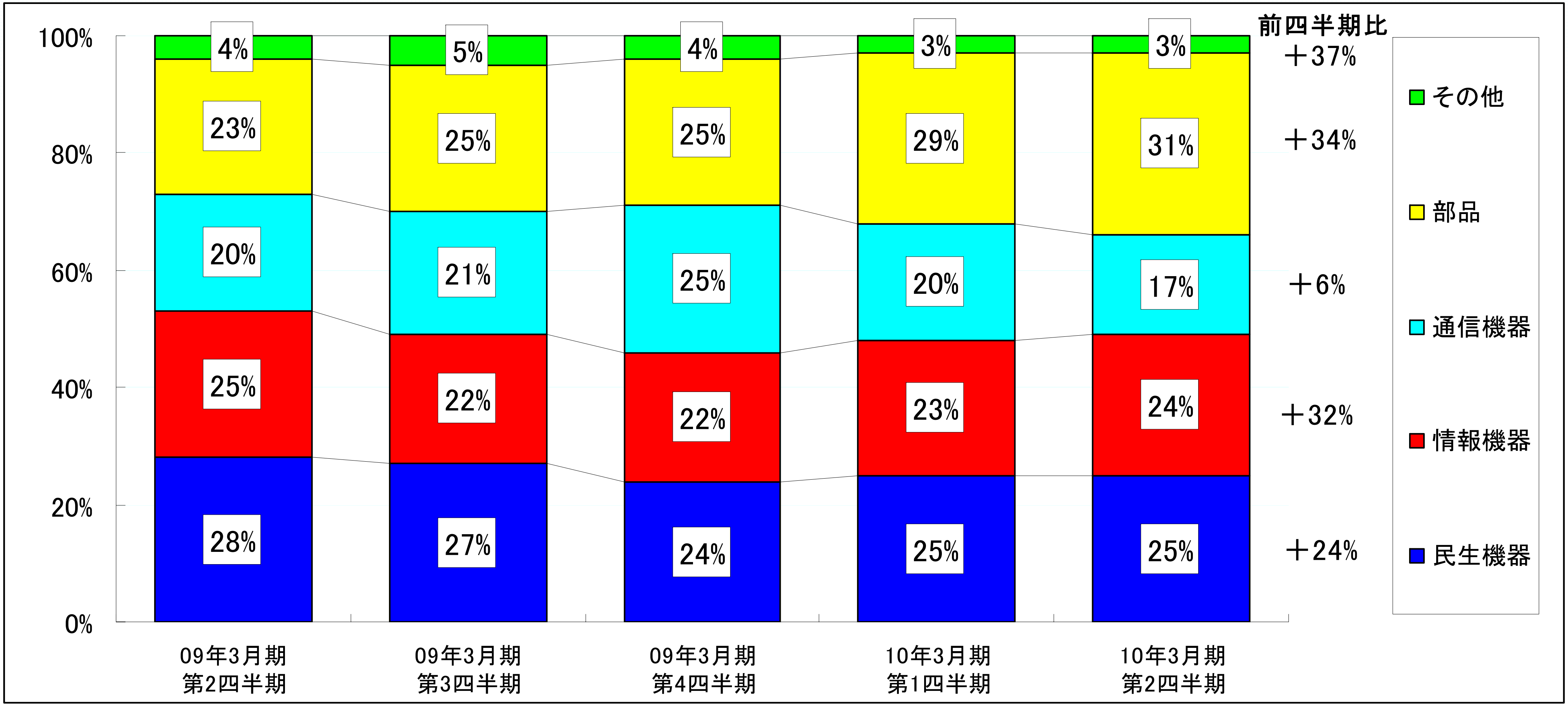
・上期平均の対米ドル為替レートは、96．57円
・前年同期比8．57円の円高により、売上高に対して64億円のマイナス影響があったが、
営業利益には8千万円のプラス影響

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

用途分野別売上構成

TAIYO YUDEN

部品、情報機器、民生機器向けが前四半期比二桁増



主要数値

TAIYO YUDEN

（単位：百万円）	2010年3月期 第2四半期 （2009.7.1～2009.9.30）	2010年3月期 上期 （2009.4.1～2009.9.30）	2010年3月期 通期見通し （2009.5.14発表）	通期見通しに対する進捗率
研究開発費	1,711	3,409	8,000	42.6%
設備投資額	1,930	4,657	10,000	46.6%
減価償却費	5,896	11,675	23,500	49.7%

2009年11月6日

太陽誘電株式会社

2010年3月期
連結業績予想の修正

TAIYO YUDEN

連結業績予想の修正（通期）

TAIYO YUDEN

売上高、利益とも前回の予想を上方修正

（単位：百万円）	2010年3月期 前回予想 （2009.8.6発表）	2010年3月期 今回予想 （2009.11.6発表）	増減額	増減率
売上高	184,000	189,000	5,000	2.7%
営業利益	0	3,500	3,500	―
経常利益	△2,000	1,500	3,500	―
当期純利益	△6,000	△1,500	4,500	―

製品別売上高予想の修正（通期）

TAIYO YUDEN

コンデンサの通期売上予想を860億円に増額

（単位：百万円）	2010年3月期 前回予想 （2009.8.6発表）	2010年3月期 今回予想 （2009.11.6発表）	増減額	増減率
コンデンサ	82,000	86,000	4,000	4.9%
フェライト及び応用製品	28,500	29,000	500	1.8%
モジュール	34,000	35,500	1,500	4.4%
記録製品	29,500	27,500	△2,000	△6.8%
その他電子部品	10,000	11,000	1,000	10%

連結業績予想の修正(半期)

TAIYO YUDEN

(単位:百万円)	2010年3月期 上期 前回予想 (2009.8.6発表)	2010年3月期 下期 前回予想 (2009.8.6発表)	2010年3月期 上期 実績	2010年3月期 下期 今回予想 (2009.11.6発表)
売上高	91,500	92,500	94,996	94,004
営業利益	0	0	1,842	1,658
経常利益	△1,000	△1,000	121	1,379
当期純利益	△3,000	△3,000	△1,420	△80

製品別売上高予想の修正（半期）

TAIYO YUDEN

（単位：百万円）	2010年3月期 上期 前回予想 （2009.8.6発表）	2010年3月期 下期 前回予想 （2009.8.6発表）	2010年3月期 上期 実績	2010年3月期 下期 今回予想 （2009.11.6発表）
コンデンサ	41,000	41,000	43,015	42,985
フェライト及び応用製品	14,500	14,000	14,910	14,090
モジュール	17,000	17,000	17,984	17,516
記録製品	14,000	15,500	13,268	14,232
その他電子部品	5,000	5,000	5,816	5,184

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことからも、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。